

丹沢 三峰山山行記録

記:鳥切

期 日:2019年12月28日(土) 天候:晴

山 域:丹沢 三峰山(935m)

メンバー:エミ 鳥切昇治

行動記録

コースタイム

横須賀—横浜 5:52—7:03 道の駅清川 7:17—7:27 煤ヶ谷登山口—8:37 物見峠分岐—8:56 小さな社—9:11 物見峠からの合流点—10:34 三峰山 10:55—12:19 大山分岐—12:20 不動尻手前(広場) 12:53—広沢寺分岐 13:02—13:37 谷太郎林道終点—14:25 煤ヶ谷—14:30 道の駅 14:43—15:10 海老名 SA15:25—16:07 横浜—横須賀

清川村役場前にある道の駅に7時過ぎに着いた。道の駅はまだ閉っていた。天気は晴れていて寒い。県道を宮ヶ瀬方面に200m程歩き、谷太郎川の橋を渡って左折、少し行くと右手に登山口の標識があり、ポストに山行計画書を入れ登り始める。

道は広葉樹の落葉に敷き詰められていて気持ち良く歩く。物見峠への分岐



煤ヶ谷の登山口



稜線手前の小さな社

標識の所で体が温まって来たので衣類調整をする。ここから物見峠には行かずに左手の道に入る。相模湾がキラキラ輝いていて眩しい。江ノ島も見える。落葉の道脇は霜柱が立っていて踏むとサクサクと音がする。

稜線が近くなり、小さな社とベンチがある所に出た。風が冷たく、脱いだウインドブレーカーを着込む。物見峠からの合



物見峠からの道の合流点



三峰山まで100m の地点

流点はそこから直ぐの所だった。稜線は狭くなり霜が凍って滑る所がある。慎重に歩く。三峰山が近くなった所で、安全を期してストックを出して使う。谷筋には先日降った雪が残っている。

三峰山山頂に着いた。ベンチでヘルメットを被った登山者2人が休んでいた。今日初めて会った登山者だった。木々の奥に雪をまとった山が見える。コンパスと地図で確認すると丹沢山で、その右奥は蛭ヶ岳の様であった。塔ノ岳も確認出来る。

大山まで行くと言う単独の登山者が



三峰山山頂



鎖場を登る

登って来て写真を撮ってもらい、不動尻方面に下る。大山が樹間から近くに見えて来た。この辺りから大山に行く道がある筈だが、、と注意しながら歩いていたが、道は左側の沢の方へ下って行き見付けられなかった。

急な道を沢に沿って下る。台風で倒れた杉の木を跨ぐと標識があり、大山に登る分岐の標識だった。少し下ると広場になっていて、ここで大休止する。以前来た時は車が数台駐車していたが、今は入って来れない様だ。この広場の周囲には三又の木が沢山あり白い蕾を付けていた。

なっている。ここで大休止する。以前来た時は車が数台駐車していたが、今は入って来れない様だ。この広場の周囲には三又の木が沢山あり白い蕾を付けていた。



杉の倒木の脇に大山への標識

不動尻へ林道を下る。台風の影響が分らないが林道は荒れ放題で沢筋の所は土砂が堆積していた。これでは車は入って来られない。

広沢寺温泉分岐を煤ヶ谷方面の道に入る。谷太郎川の左岸の細い道を下って行くと河原に出て、道は何度か川を渡るようになるが、木橋が流されていて石伝いに渡る。この時期にしては水量が多く、渡る石が滑りそう。とうとう滑ってドボンしてしまった。ストックを出しておけばと悔やむ。

谷太郎林道終点に着いて濡れた靴下を絞る。二人とも散々な目に会ってしまった。林道を下って行くと左手にマス釣場が見え



三又の木の白い蕾



谷太郎川の木橋を渡る



谷太郎林道終点



清川村役場前バス停と道の駅

て来たが、台風で流されて無残な状況が見えた。煤ヶ谷の集落に入り、県道に出て道の駅に戻って来た。

以上